

清和大学 学力特待生制度について【2027年度入試】

この制度は、広く全国から優秀な人材を募り、育成することを目的としており、そのために学生に対して一定の経済的支援を行うために設けられたものです。

学力特待生制度の Point4

Point1 学力特待生は、3種類 最大、約 270 万円を給付！

学力特待生として入学すると、大学から次の内容の給付があります。

A 特待生：入学料全額と4年間の授業料全額に相当する奨学金を給付

B 特待生：入学料全額と4年間の授業料半額に相当する奨学金を給付

C 特待生：入学料全額と4年間の授業料 $\frac{1}{4}$ に相当する奨学金を給付

特待生の初年度に納入する実質負担額は次のとおりです。（4年間適用されます）

種 類 \ 学費の内訳	入学料	授業料	実験実習学生 諸費・維持費	年間学費
A 特待生	0 円	0 円	420,000 円	420,000 円
B 特待生	0 円	300,000 円	420,000 円	720,000 円
C 特待生	0 円	450,000 円	420,000 円	870,000 円

Point2 4種類(入試区分)の入学試験でエントリーが可能です

本学が実施する入学試験のうち、2月までに実施される「総合型選抜」「学校推薦型選抜（公募制・指定校制・併設校制）」「一般選抜」「大学入学共通テスト利用選抜」で、学力特待生選考にエントリーできます。各試験日当日に、エントリー者を対象に実施する選考とその方法は以下のとおりです。

入試区分	合否判定試験	特待生選考 *1	特待生選考方法
総合型選抜 (Ⅰ期・Ⅱ期・Ⅲ期・Ⅳ期・Ⅴ期)	適性検査 面接	(追加試験なし)	提出書類、実施する試験等の 結果を総合的に判断して決定 する
学校推薦型選抜 (公募制・指定校制・併設校制)	適性検査 面接	(追加試験なし)	
一般選抜(Ⅰ期)	学力試験	面接	
大学入学共通テスト 利用選抜(Ⅰ期・Ⅱ期)	大学入学共通テスト 試験結果	面接	提出書類、大学入学共通テスト 試験結果、面接結果を総合 的に判断して決定する

*1 エントリー受験者に対して実施する選考の結果は、大学の合否判定には無関係です。

Point3 学力特待生として入学すると、適用される資格は4年間です

入学時に選考された特待生の資格は、4年間継続して適用されます。

ただし、年度ごとに評価し、その資格について検討します。学業に専念せず成績が不振であったり、本学の諸規則違反や学生の本分に反する行為等で処分を受けたりした場合などは、資格が取り消されることがあります。詳しくは、入学後に説明します。

Point4 入学後に、「清和大学特待生」の適用を受けることもできます

本学には、在学生を対象にした特待生制度があります。学力特待生として入学した者が、その規定（下表参照）によってさらに一定の奨学金の給付を受けることも可能です。（清和大学特待生規程）

目 的	学業、人物ともにすぐれた学生に奨学金を給付し、優秀な人材を育成する。
資 格	1 種…各年次の成績が抜群で人物がすぐれていること 2 種…各年次の成績が優秀で人物がすぐれていること
人 数	各学年若干名
給 付 額	1 種…清和大学授業料相当額 2 種…清和大学授業料相当額の半額
給付期間	当該年度 1 年（ただし、再出願可）

学力特待生制度 Q&A

Q1 エントリーはどのようにすればいいですか？

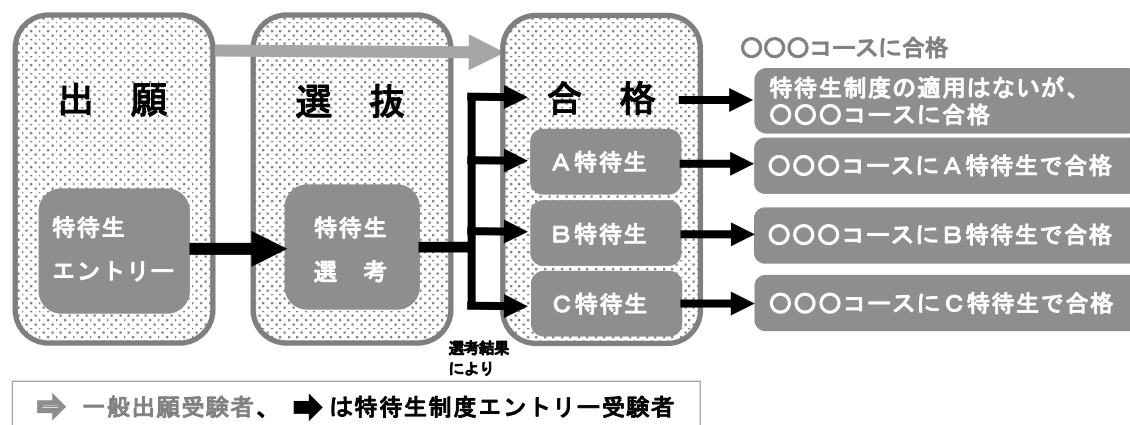
エントリー用紙に必要事項を記入し、受けようとする入学試験の出願書類と一緒に提出してください。詳しくは「学力特待生募集要項」で確認してください。

Q2 結果はいつわかるのですか？

受験した入学試験の合格発表と同時に結果をお知らせします。エントリーした受験者には、選考結果によって、次の 3 種類のいずれかの通知が届くことになります。

- ① ○○○コースに A 特待生として合格しました。
- ② ○○○コースに B 特待生として合格しました。
- ③ ○○○コースに C 特待生として合格しました。
- ④ 特待生制度の適用はありませんが、○○○コースに合格しました。

出願・エントリーから発表までの流れ(イメージ図)



Q3 過年度生ですが学力特待生選考にエントリーできますか？

できます。ただし、エントリー時に「調査書」を提出しなければならないので、学習指導要録の成績記載部分の保管年限までという条件がつきます。保管年数（＝調査書の発行の可否）については、出身高等学校にお問い合わせください。

Q4 エントリー要件以外にアドミッションポリシーのようなものはありますか？

ありません。特待生選考は、上記の目的で行われるものであり、入学試験ではありませんので、特別にアドミッションポリシーを設けてはいません。しかし、制度の目的からは、入学後大学が設けるリーダー養成プログラム(*2)に参加し、積極的に大学行事の運営に関わったり、大学の催し物の手伝いをするなど、自らすずんで能力を磨く意志のある者であることを強く期待します。

*2 学力特待生のために計画している自己練磨プログラムです。授業とは異なるため、卒業単位認定ではありません。「考える力」を養うためのミーティングです。